



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)横山 裕司 TEL 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	167,923	4.5	7,469	△15.4	8,172	△14.6	4,589	△20.8
25年3月期第3四半期	160,715	24.9	8,832	30.2	9,566	25.1	5,796	29.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期4,941百万円(△17.4%) 25年3月期第3四半期 5,985百万円(61.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	113.53	112.60
25年3月期第3四半期	140.48	140.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	146,578	43,379	29.3
25年3月期	144,389	42,547	29.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 42,954百万円 25年3月期 42,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	242,500	8.1	13,500	7.6	14,500	6.7	8,600	0.1	213.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	41,338,300株	25年3月期	41,283,400株
26年3月期3Q	1,235,515株	25年3月期	2,800株
26年3月期3Q	40,426,789株	25年3月期3Q	41,263,870株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、日銀による金融緩和や政府による公共投資の増加等を背景に円安、株高が進行するとともに、企業の設備投資や個人消費の増加により景況感が好転する等、回復基調が継続いたしました。

当社グループの属する医療業界におきましては、近年の診療報酬の増額改定により医療機関の経営環境は改善傾向にあり、新生ME J（メディカルエクセレンスジャパン）の発足に伴い日本医療の海外展開に向けた動きが本格化しようとしているものの、増加を続ける社会保障費抑制の議論や消費税増税への対応等、医療機関をとりまく環境は一層厳しくなっており、販売価格交渉における価格下げ圧力も依然として厳しい状況が続いております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、SPD施設の新規受託分の稼働が軌道に乗り、昨年度M&Aを実施した調剤薬局の業績が加わったこと等により売上高は増加しましたが、プロジェクト案件については年度末に集中する見込みであることに加え、前年同期に大型案件を多く計上していたこと、介護系施設における入居稼働率が改善中であること等から営業利益は減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は167,923百万円（前年同四半期連結累計期間比4.5%増）、営業利益は7,469百万円（前年同四半期連結累計期間比15.4%減）、経常利益は8,172百万円（前年同四半期連結累計期間比14.6%減）、四半期純利益は4,589百万円（前年同四半期連結累計期間比20.8%減）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。また、第1四半期連結会計期間より、従来、「トータルパックシステム事業」としていた報告セグメントは、「トータルパックプロデュース事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件の完成件数は前年同期に比べ増加いたしました。大型プロジェクトの完成案件が少なく、前年と比べ年度末での計上が多い見通しであること、メーカー系各社において新規商品に係る開発費を計上したこと等により減収減益となりました。

この結果、売上高は49,675百万円（前年同四半期連結累計期間比7.9%減）、セグメント利益（営業利益）は4,379百万円（前年同四半期連結累計期間比30.3%減）となりました。

②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、SPD施設の受託件数が増加するとともに、専門領域における医療消耗品の販売先が拡大したこと等により増収増益となりました。

この結果、売上高は86,916百万円（前年同四半期連結累計期間比10.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1,398百万円（前年同四半期連結累計期間比9.9%増）となりました。

③ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、昨年度開設した介護系施設の立ち上げ費用を計上したこと及び既存施設における入居稼働率が改善中であること等により、営業利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は14,100百万円（前年同四半期連結累計期間比1.2%増）、セグメント利益（営業利益）は408百万円（前年同四半期連結累計期間比13.2%減）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、既存店舗が当初計画以上に順調に推移するとともに、昨年度に実施した(株)医療サービス研究所のM&Aにより店舗数が増加したこと、新規出店店舗の運営も順調であったこと等から堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は16,386百万円（前年同四半期連結累計期間比25.8%増）、セグメント利益（営業利益）は1,444百万円（前年同四半期連結累計期間比33.4%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院事業は計画通り進捗した一方、理化学機器については販売を伸ばしたものの利益率が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は845百万円（前年同四半期連結累計期間比0.6%減）、セグメント利益（営業利益）は84百万円（前年同四半期連結累計期間比34.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は146,578百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,188百万円増加いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が7,370百万円減少した一方、建設仮勘定が2,360百万円、商品及び製品が1,923百万円、現金及び預金が1,853百万円、投資有価証券が1,022百万円、長期貸付金が883百万円、短期貸付金が869百万円増加したこと等によるものであります。

負債は103,199百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,357百万円増加いたしました。その主な要因は、未払法人税等が2,215百万円、支払手形及び買掛金が2,166百万円、賞与引当金が773百万円、社債が582百万円減少した一方、短期借入金が5,165百万円、長期借入金が1,826百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は43,379百万円となり、前連結会計年度末と比べて831百万円増加いたしました。その主な要因は、自己株式が2,348百万円増加し、配当金の支払により利益剰余金が1,857百万円減少した一方、四半期純利益により利益剰余金が4,589百万円、その他有価証券評価差額金が204百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は29.3%（前連結会計年度末比0.1ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成25年5月7日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,850	20,704
受取手形及び売掛金	54,113	46,743
有価証券	82	19
商品及び製品	7,649	9,572
仕掛品	2,031	2,399
原材料及び貯蔵品	705	840
その他	8,217	10,113
貸倒引当金	△99	△149
流動資産合計	91,551	90,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,962	8,954
土地	8,230	8,276
貸与資産(純額)	44	35
賃貸不動産(純額)	8,709	8,459
その他(純額)	1,892	4,295
有形固定資産合計	27,839	30,020
無形固定資産		
のれん	10,622	10,256
その他	592	660
無形固定資産合計	11,214	10,916
投資その他の資産		
長期貸付金	6,277	7,160
その他	9,485	10,106
貸倒引当金	△1,979	△1,869
投資その他の資産合計	13,783	15,397
固定資産合計	52,837	56,335
資産合計	144,389	146,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,493	51,326
短期借入金	3,281	8,447
未払法人税等	3,176	960
賞与引当金	1,481	708
その他	11,972	11,980
流動負債合計	73,405	73,422
固定負債		
社債	4,034	3,452
長期借入金	20,063	21,890
退職給付引当金	2,006	2,002
資産除去債務	207	213
その他	2,125	2,219
固定負債合計	28,436	29,776
負債合計	101,842	103,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,691	5,749
資本剰余金	10,061	10,118
利益剰余金	25,795	28,521
自己株式	△1	△2,349
株主資本合計	41,547	42,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	567	771
為替換算調整勘定	63	143
その他の包括利益累計額合計	630	915
少数株主持分	369	424
純資産合計	42,547	43,379
負債純資産合計	144,389	146,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	160,715	167,923
売上原価	138,485	146,153
売上総利益	22,229	21,770
販売費及び一般管理費	13,396	14,300
営業利益	8,832	7,469
営業外収益		
受取利息	245	271
受取配当金	37	39
負ののれん償却額	494	494
持分法による投資利益	21	21
その他	293	204
営業外収益合計	1,092	1,031
営業外費用		
支払利息	263	262
その他	95	65
営業外費用合計	358	328
経常利益	9,566	8,172
特別利益		
固定資産売却益	6	1
投資有価証券売却益	—	0
子会社株式売却益	—	3
負ののれん発生益	1	—
補助金収入	61	—
特別利益合計	69	4
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	17	27
投資有価証券売却損	5	—
事業構造改善費用	90	—
自己株式取得費用	61	51
特別損失合計	174	79
税金等調整前四半期純利益	9,461	8,097
法人税、住民税及び事業税	3,005	2,800
法人税等調整額	585	671
法人税等合計	3,591	3,471
少数株主損益調整前四半期純利益	5,870	4,625
少数株主利益	73	36
四半期純利益	5,796	4,589

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,870	4,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	213
為替換算調整勘定	54	101
その他の包括利益合計	114	315
四半期包括利益	5,985	4,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,900	4,883
少数株主に係る四半期包括利益	84	57

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成24年5月14日を効力発生日として当社の連結子会社であるグリーンホスピタルサプライ株式会社（以下「GHS」という。）及び株式会社セントラルユニ（以下「C&U」という。）との間で、当社を吸収分割承継会社、GHS及びC&Uを吸収分割会社とする会社分割をいたしました。当該会社分割に反対する株主より、会社法第797条第1項に基づく当社株式の買取請求がなされたことにより、第1四半期連結会計期間において当社株式1,232,700株の買取を行い、自己株式が2,348百万円増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表における自己株式は2,349百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	53,939	78,971	13,931	13,021	159,865	850	160,715	—	160,715
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	883	357	2	—	1,243	7	1,251	△1,251	—
計	54,823	79,328	13,934	13,021	161,109	858	161,967	△1,251	160,715
セグメント利益	6,284	1,271	470	1,082	9,108	128	9,237	△405	8,832

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△405百万円には、セグメント間取引消去49百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△454百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社である株式会社仙台調剤（現 シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社）が株式会社医療サービス研究所株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「調剤薬局事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては4,078百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	49,675	86,916	14,100	16,386	167,078	845	167,923	—	167,923
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	580	391	4	—	976	8	985	△985	—
計	50,256	87,307	14,105	16,386	168,054	853	168,908	△985	167,923
セグメント利益	4,379	1,398	408	1,444	7,630	84	7,715	△245	7,469

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△245百万円には、セグメント間取引消去57百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△312百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 第1四半期連結会計期間より、従来、「トータルパックシステム事業」としていた報告セグメントは、「トータルパックプロデュース事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第3四半期連結累計期間につきましても、当第3四半期連結累計期間と同様に「トータルパックプロデュース事業」と記載しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。